

4 市町村保険者に係る保険料(税)の状況

(1) 調定の状況

平成 29(2017)年度における保険税の現年度分調定額は、510 億 3,523 万 7 千円で前年度より 19 億 5,612 万 8 千円(対前年度比 3.7%)減となっている。

また、1世帯当たりの調定額は 17 万 2,385 円で前年度より 1,131 円(対前年度比 0.7%)減となっており、1人当たりの調定額は、10 万 2,409 円で前年度より 1,549 円(対前年度比 1.5%)増となっている。

なお、調定額ベースでの平均賦課割合(医療給付費分)は、応能:応益=52.91:47.09であり、応益割が前年度より 0.09 ポイント減となっている。

(2) 収納の状況

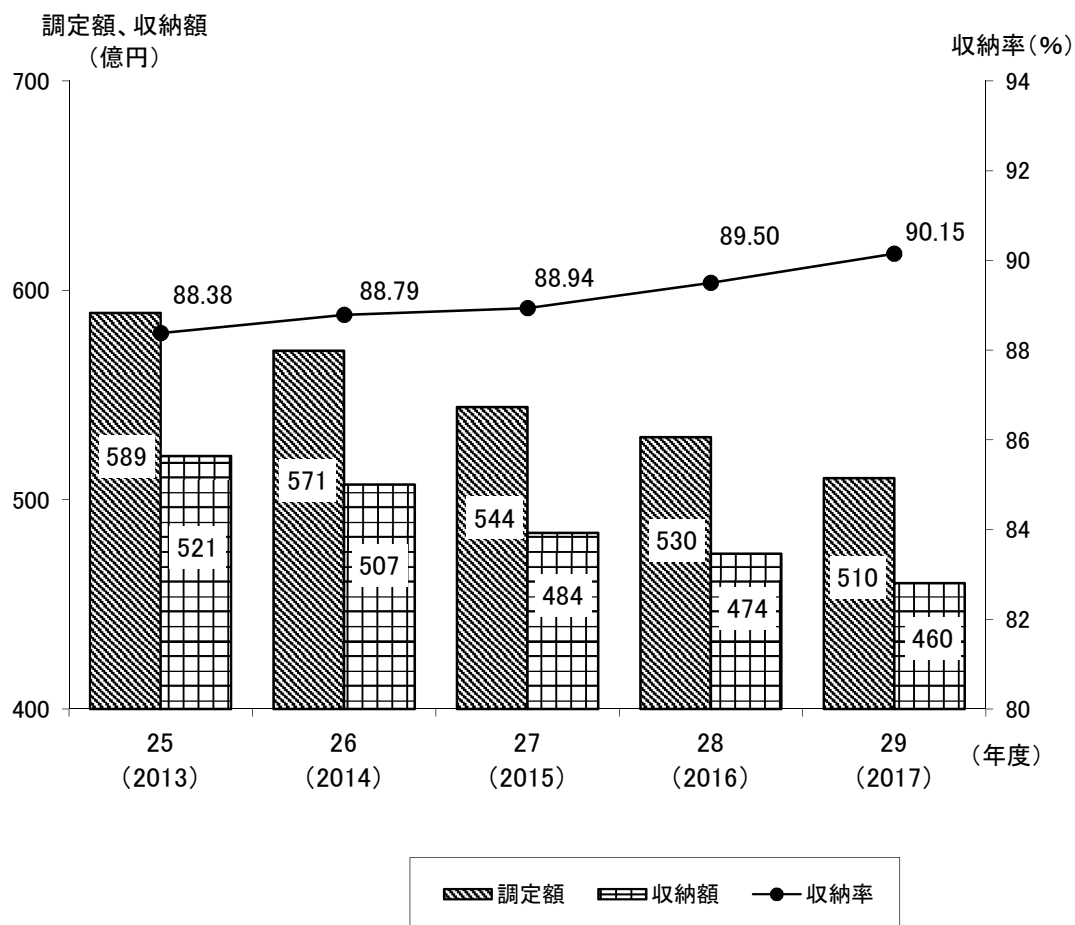
平成 29(2017)年度における保険税の収納額は、500 億 2,446 万 9 千円で、16 億 9,106 万 8 千円(対前年度比 3.3%)減となっている。

その内訳は、現年度分が 460 億 1,027 万 6 千円で前年度より 14 億 1,488 万円(対前年度比 3.0%)減、滞納繰越分が 40 億 1,419 万 3 千円で、2 億 7,618 万 8 千円(対前年度比 6.4%)減となっている。

また、現年度分の1世帯当たりの収納額は 15 万 5,412 円で、122 円(対前年度比 0.1%)増となっており、1人当たりの収納額は、9 万 2,326 円で、2,060 円(対前年度比 2.3%)増となっている。

なお、収納率は合計が 72.31%で前年度より 1.10 ポイント増となり、現年度分が 90.15%で前年度より 0.65 ポイント増となっている。

図4 保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村、現年度分)



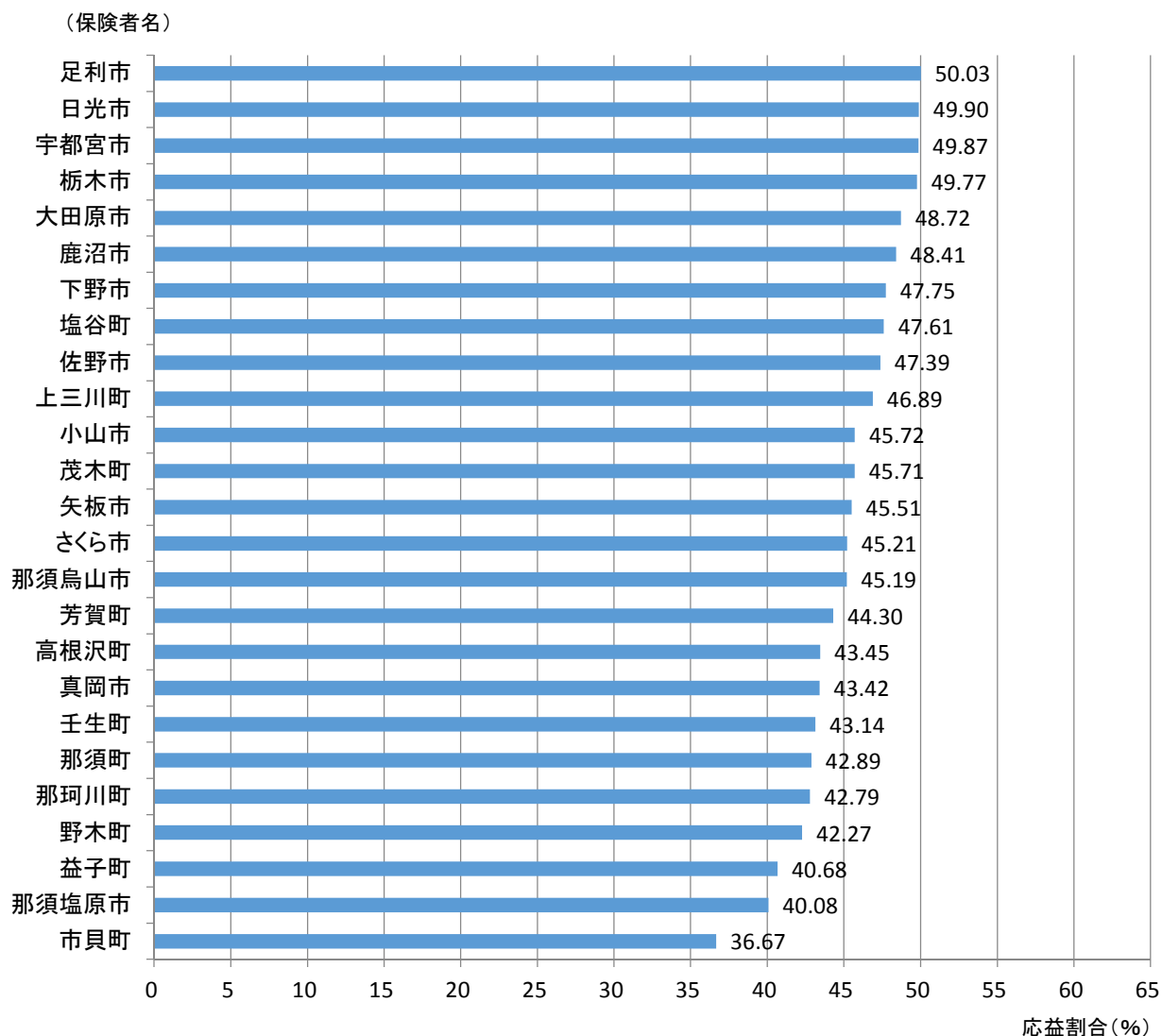
保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村)

(単位:千円、%)

年度	25 (2013)	26 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)
収納額	57,075,882	55,451,537	52,971,104	51,715,537	50,024,469
現年度分					
調定額	58,928,855	57,123,615	54,429,772	52,991,365	51,035,237
収納額	52,078,941	50,721,489	48,407,410	47,425,156	46,010,276
収納率	88.38	88.79	88.94	89.50	90.15
1世帯当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	179,426	179,620	174,231	173,516	172,385
収納額	158,569	159,490	154,953	155,290	155,412
1人当たり(現年度) (単位:円)					
調定額	101,967	100,888	99,294	100,860	102,409
収納額	90,114	89,581	88,307	90,266	92,326

※調定額は居所不明者分調定額を含む。

図5 保険者別応益割合の状況(市町村、医療給付費分)

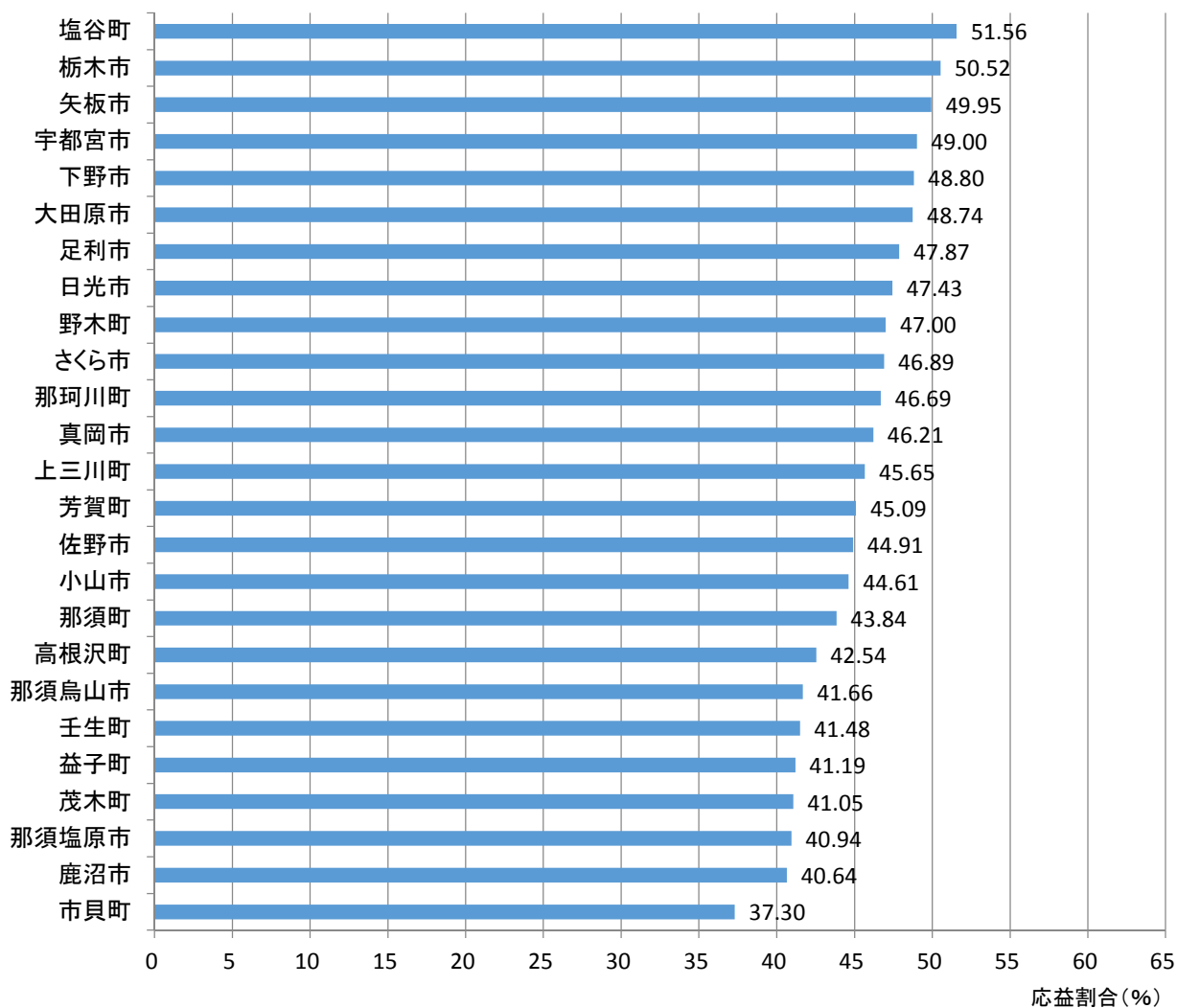


※賦課割合(調定ベース)の応益割合の計算式:

$$\frac{(\text{均等割} + \text{平等割})}{(\text{算定額計} - \text{賦課限度額})}$$
 一般被保険者分の算定額から計算

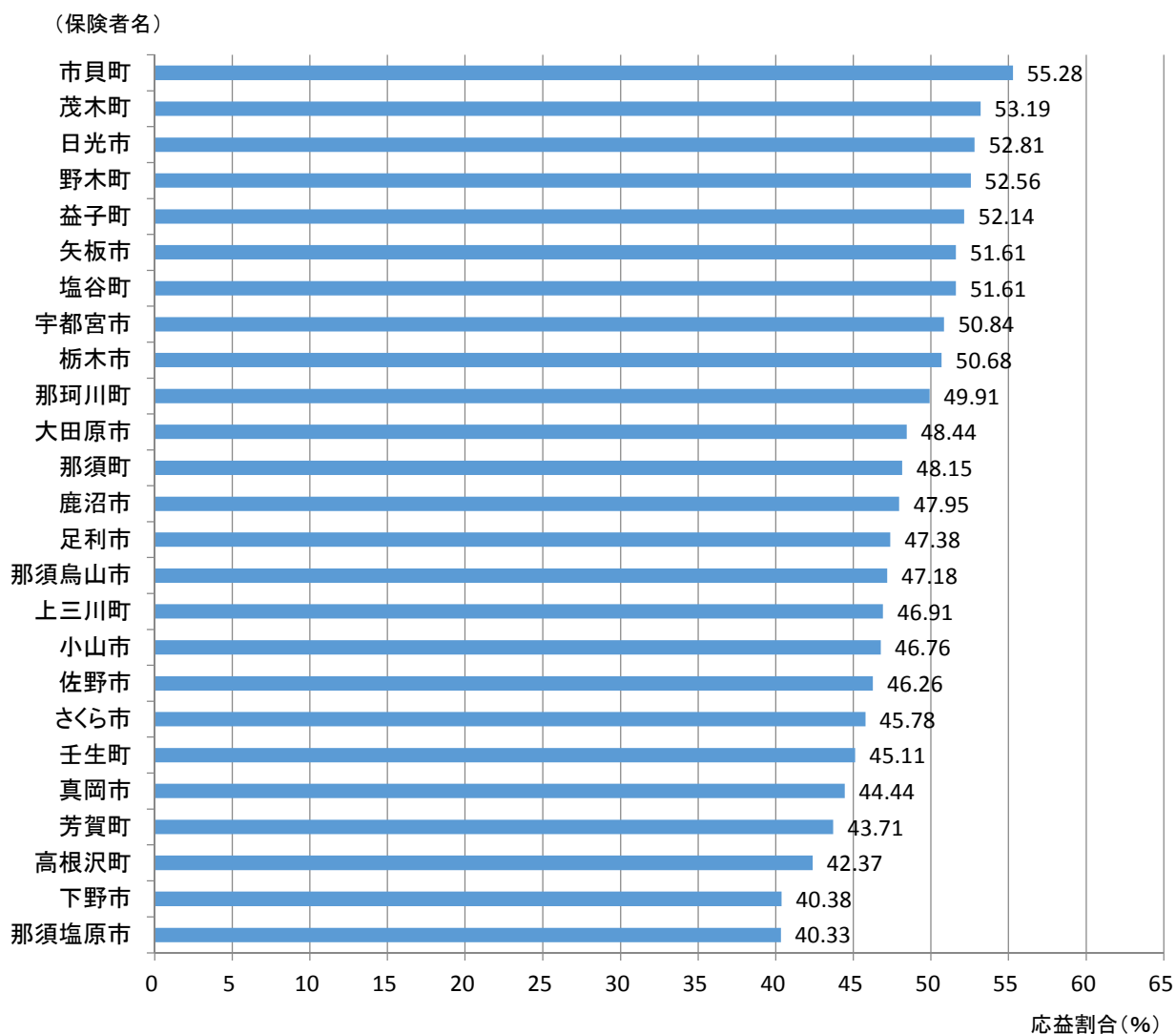
図6 保険者別応益割合の状況(市町村、後期高齢者支援金分)

(保険者名)



※賦課割合(調定ベース)の応益割合計算式:
 (均等割+平等割) / (算定額計-賦課限度額)
 一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図7 保険者別応益割合の状況(市町村、介護納付金分)



※賦課割合(調定ベース)の応益割合の計算式:

$$\frac{\text{均等割} + \text{平等割}}{\text{算定額計} - \text{賦課限度額}}$$
 一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算